

明日にむかって

発行/社会福祉法人 陽光会 編集/陽光保育園子どものしあわせを願う会
発行日/1991年8月10日 住所/東京都板橋区大谷口上町23-1 ☎(3956)1068

1949年夏、青空保育から始まり、多くの困難をのりこえて歩み続けた陽光保育園。
日本は世界の注目のもと高度経済成長をなしとげました。しかし『豊かな日本』と言われる中で、子どもをとりまく環境は年々さまざまな問題をかかえています。陽光保育園子どものしあわせを願う会は5年前「地域の子育てをみんなで考え、子どものしあわせを願ってやれることから行動しましょう」と1986・7・7発足しました。40周年記念事業のとりくみの中で発行された『明日にむかって』今後3回を目標に発行していきたいと考えています。地域のみなさんの声もぜひお聞かせ下さい。

親子でいっしょに

あそびましよう

陽光保育園では、すべての子どもたちがすこやかに育つよう、子育てを地域の人たちといっしょに考えようという立場から「子どものしあわせを願う会」(略称「願う会」)を発足しました。

「願う会」を組織しています。願う会の運動から生まれたひとつが「親子でいっしょにあそびましよう」の企画です。今号ではこの企画をレポートします。

親子でいっしょにあそびましようもスタートしてから三年半。月一回の企画で地域の〇歳児から就学までの子どもと保護者が午前中保育園の子どもと一緒に遊べるというものと親が参加しました。

『願う会』発足当時、子供がすこやかに育つためにかかせない環境の一つ、公園のことが気になりみんなが公園めぐりをしました。遊具ばかりならべてあったり、ボール遊びが駄目だったり土や草原のない公園ばかりでした。自由にのびのび遊べる公園がほしいと区公園計画係長と面

会していろいろ話したところ、地域にはいろいろな要求の人がいて「蚊が出るから除草せよ」「ほごりになるから植木を」「危ないから斜面は登れないように」等々、必ずしも子供の立場にたない要求にもとづいて公園が整備されていることがわかりました。なんとか地域の人たちにも理解してもらい子供たちのための公園、あそび場がほしいという願いがつのりました。

参加者の声

◆初めて砂場で水遊び、どろんこ遊びをさせてもらいました。大丈夫かなと心配しましたが本人は慣れるとごきげんで砂や水をいじってあそんでいました(二ヶ月・小茂根)

◆とても良い保育内容で子供たちも保育さんも生き生きしていると感じました/福祉事務所の人に勧められて参加しました(四歳・坂戸市)

◆離乳食の献立をいただけて参考にになりました(五ヶ月・大谷口)

◆みんなの歌を聞いてとても楽しそうでした(二歳・仲町)

◆今まで家の中で私と一緒に遊び、散歩やお買物に行く毎日で同年齢の子どもと接した事がなく初めは泣きました。帰りはもっと遊びたそうでした。帰りはもっと遊びたそうでした。帰りはもっと遊びたそうでした。帰りはもっと遊びたそうでした。

◆広いお部屋に入るなりお兄ちゃんケンパーを見て自分もやっています。ピアノが気に入って「手をたたきましよう」は得意そうにやっています。帰りはもっと遊びたそうでした。帰りはもっと遊びたそうでした。

◆歌と描画と散歩への参加とても楽しく遊んでいました。クラスの子ども達も気にしてくれてとてもやさしかったです(四歳七ヶ月・大谷口)

◆おもちゃを子供は初めて見せていただき貴重な体験をありがとうございました。子供の心理や考え方を感心方を知りたいと思います(二歳・向原)

大谷口地域に

広場や多目的のホールがほしい

◆久しぶりです。最初とまどっていましたがあちこち歩き回り探検しています。いろいろなお母さんの話しも聞けて参考になりました(二歳二ヶ月・仲町)

◆子どもたちのたくましさにただただ驚きました。保育園や保育士さんが開放的なのがいいですね(二歳九ヶ月・光ヶ丘)

◆今まで家の中で私と一緒に遊び、散歩やお買物に行く毎日で同年齢の子どもと接した事がなく初めは泣きました。帰りはもっと遊びたそうでした。帰りはもっと遊びたそうでした。

◆広いお部屋に入るなりお兄ちゃんケンパーを見て自分もやっています。ピアノが気に入って「手をたたきましよう」は得意そうにやっています。帰りはもっと遊びたそうでした。帰りはもっと遊びたそうでした。

◆歌と描画と散歩への参加とても楽しく遊んでいました。クラスの子ども達も気にしてくれてとてもやさしかったです(四歳七ヶ月・大谷口)

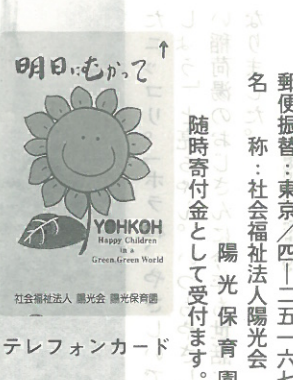
◆おもちゃを子供は初めて見せていただき貴重な体験をありがとうございました。子供の心理や考え方を感心方を知りたいと思います(二歳・向原)

◆久しぶりです。最初とまどっていましたがあちこち歩き回り探検しています。いろいろなお母さんの話しも聞けて参考になりました(二歳二ヶ月・仲町)

ひまわり基金つき

テレフォンカード発売

一九七九年産休明け保育実現のために園舎増築。その時の借金が七六〇万円残っています。一九九八年には土地契約更新もあり、来年には給食室の改修を予定しています。これらの資金として『ひまわり基金』(寄付金を公募しています。テレフォンカード五〇度一〇〇〇円売りですが三五〇円は『ひまわり基金』としますので活用下さい。尚『ひまわり基金』もよろしく願います。『ひまわり基金』の受付は、郵便振替：東京/四二二五二一六七 名称：社会福祉法人 陽光会 陽光保育園 随時寄付金として受付ます。



ご意見をお待ちします

◆みなさんの願いや思い。あのことはどうなっている。要求・疑問・問題提起。子どもたちのこと、自分のこと、大人たちのこと。陽光保育園子どものしあわせを願う会にとけておきたい声：声：なんでもお届け下さい。保育園の出入口に箱を設置しましたのでよろしく。

園みたいな公園をいっばい作ってほしい。

◆最近、跳ね不足だ。もつと自由に遊べる所が欲しい等々。この紙面で紹介しきれないのが残念です。願う会では近日中にこのアンケートのまとめとあわせてこの大谷口地域にボール遊びなど自由に行ける広場と子供も大人も利用できる、人形劇コンサート、親子リズム等の催しができる床ばりのホールを作ってほしいという署名運動をして区に請願もしています。ご協力よろしく願います。アンケートのまとめは冊子にして、ご希望の方に実費でおわけします。どうぞご連絡下さい。

親子いっしょに遊びましよう

199(せん)年開子定

5月15日(水)
6月11日(火)
7月10日(水)
8月7日(水)
9月12日(木)
10月24日(木)
11月13日(水)
12月19日(木)
1月21日(火)
2月6日(木)
3月11日(水)

(場所) 陽光保育園
(時間) 午前9時～11時
(対象) 就学前の乳幼児
0歳～5歳児

活動(あそび)しやす服装でお出かけ下さい。
高参加ばうの方事前にご連絡ください
(無料)

☎ 3956-1068
板橋区大谷口上町23-1

主催 陽光保育園/企画 陽光保育園子どものしあわせを願う会



時は二十組近い親子

増えつづけています。

◆初めは毎月楽しみに参加する親子が増えつづけています。

◆今では毎月楽しみに参加する親子が増えつづけています。

◆今では毎月楽しみに参加する親子が増えつづけています。

◆今では毎月楽しみに参加する親子が増えつづけています。

◆今では毎月楽しみに参加する親子が増えつづけています。

◆今では毎月楽しみに参加する親子が増えつづけています。

◆今では毎月楽しみに参加する親子が増えつづけています。

◆今では毎月楽しみに参加する親子が増えつづけています。

特集

水に親しむ子どもたち

子どもたちは水あそびが大好きです。日光では夏になると近くの公園のプールへはもちろん、東山公園、大山公園にも足をのびします。プールの中でおもいっきり身体を

使うからでしょうか、夏の二ヶ月で子どもたちは大きく成長します。子どもたちはどのように水に親しんでいくのでしょうか。その段階を見ていくことにしましょう。

0歳児



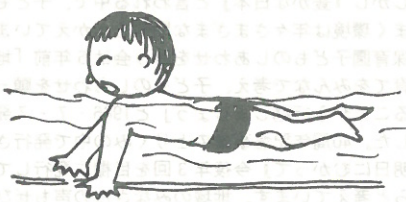
ハイハイでビニールプールに入ります。水の中にすわりこみ、顔に水がかかっても平気平気。

1歳児



頭からシャワーをかぶっても平気で、夏のおわりには首を出してハイハイするワニ歩きがはじめます。

2歳児



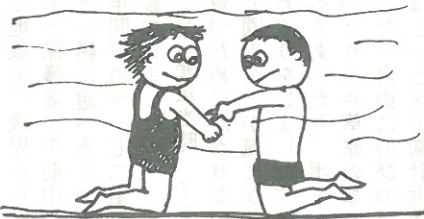
プールにどんどん入っていき、両手をついで足を浮かせるワニ泳ぎができるようになります。

3歳児



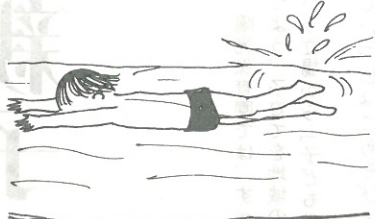
水にもぐるのが好きになり、目もあけられます。足をバタバタさせ本人は泳いでいるつもりです。

4歳児



水中でジャンケン遊びができます。水中で浮くことを覚えるのもこのころ。バタ足泳ぎももうそろそろ。

5歳児



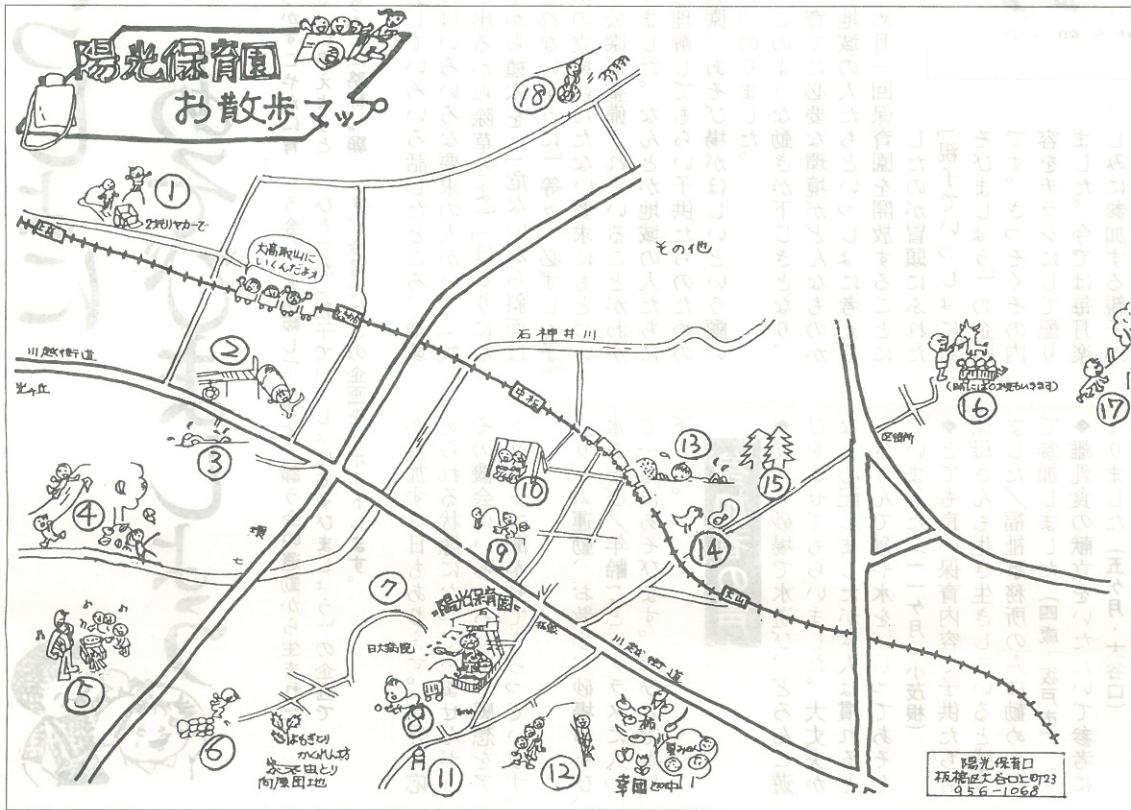
息つきはできなくとも息のつづくがぎり泳ぎます。かっこうも段々まわってきて、息つきはすぐそこ。

プールのある公園

- ③東山公園
上板橋小学校近く(東山町51)
- ④城北公園(都立城北中央公園)
桜川一丁目
- ⑦怪獣公園(大谷口児童遊園)
大谷口小学校となり
- ⑫交通公園 大山西町21-1
- ⑬山中公園 栄町32
- ⑮大山公園 栄町35
- ⑯東板橋動物公園 板橋3-50-1
- ⑰加賀公園 加賀一丁目

プールのない公園

- ①平和公園 常盤台4-3
- ②南ときわ台公園 南常盤台二丁目
- ⑤茂呂山公園 小茂根五丁目
- ⑥小茂根二丁目公園 小茂根二丁目
- ⑧大谷口上町公園 大谷口上町
- ⑨弥生公園 弥生町
- ⑩三葉公園 弥生町
- ⑪大谷口公園 大谷口一丁目
- ⑭養育院 栄町35
- ⑱宮本公園 宮本町



縫うこと・5歳児

「早くかもしか組になりたい」と言い続け進級して四ヶ月になった五歳児のかもしか組。一日とたくましく成長していく十七名の子ども達です。四月になってすぐ雑巾縫いを始めました。針に糸を通すところから教えるのですが子ども達の真剣な顔、その集中力にびっくりしました。結び玉を作る子もいます。縫うという作業にたまらない魅力を感じてしまった子ども達はその日のうちに縫いあげてしまいたい一枚の雑巾は子ども達の大切な宝物になりました。次に『こいのぼり作り』に挑戦。全長二メートルあまりの赤いこいのぼりを全員で縫いあげ屋上に泳がせました。

その次はおとまり保育に使う大作の衣類袋作りですがその前に二度目の雑巾を縫ってみました。もう針仕事も上手になりました。

四歳児うさぎ組のお泊り保育が近づいて来ました。夕飯のメニューはシチューとオニギリ、それにサラダと決まり、自分達で作るんだとはりきっています。夜は宝さがしにキャンプファイヤー、花火と盛り沢山のドキドキ、ウキウキ、ファイヤー用の薪を城北公園にみんなで拾いに行きました。

例年保育園近くの稲荷湯さんへおふろに入りに行くのも楽しみの一つです。子ども達と一緒に稲荷湯のおじさんへお願いに出かけました。「おじさん、お泊り保育の日、おふろにはいらせて下さい」と次々にあいつつする子ども達。「いいよ」と稲荷湯のおじさんがニコニコ。すると突然「ボクが先にたのんでおいたって言ったでしょ」と亮ちゃん。稲荷湯をいつも利用している亮ちゃんは、お泊り保育の日稲荷湯に行こうとみんなで話し合った後、すぐ稲荷湯のおじさんに頼んでくれたと言うのです。「そう、たちちゃん先に頼んでくれたの?」と聞くと「そうだったねえ」と稲荷湯のおじさんはま

事は自信たっぷりです。縫い目もずいぶん細かくなりこれなら袋縫いも大丈夫と思いつく用意しました。「早くやりたい、早くやろう」と意欲満々です。今度はただ縫うだけでなく線の通りに針を進めなければ袋にならないのですがみんな頑張りました。六歳になると経験したこと、学習したことは自分だけでなく、仲間と共にお互いに励ましあい、教えあつて仕事ができるようになります。こうして一人一人の力が育つていくのでしよう。自分で作った袋にいっぱい着替えを入れてかもしか組さんは五日市松原村へ二泊三日のお泊り保育に出かけて行きました。



「かもしか組さんは自分達で縫った雑巾で毎日ホールや部屋の雑巾がけをしています」

暑い日が続いています。夏は汗をかき、特に子供は水分が欲しくなります。夏は気づかないうちに糖分をとり過ぎてしまうことが多いものです。幼児の砂糖の一日標準摂取量は15〜20g以下。しかし、清涼飲料水に含まれている砂糖の量はコーラ(二五〇ml中)25g、オレンジジュース(果汁50%)に15g含まれています。つまり、清涼飲料水一本飲むだけで、砂糖の必要量を満たしてしまおうという事です。砂糖のとり過ぎは、体内のビタミンBの消費を高め、疲れやすくなり、またカルシウムの需要を高めるためカルシウム不足になり、化膿しやすく、イライラがおこります。近視にもなりやすく筋力もおとろえます。子供の健康と成長を考えると、家庭で煮出した麦茶など、甘味のないさっぱりとした飲み物が望まれます。